



みみよい

「あいさつ」

相談担当 阿部 智美

6カ月ほどのお休みから復帰させていただき、一番感じたのは当センターに來所される聴覚障害者が増えたことです。プールやジム目的でプラザに來られる方は以前からおられたのですが、最近は通訳(電話通訳)の依頼や相談など、当センターの利用で來て下さる方も多くなりました。中にはおしゃべりをしにきてくださる「常連」さんもいますが、新規の方も少しずつ増えてきています。

通訳依頼もメールやFAXで済ませることもできる便利な社会になってきていますが、「つながりを大事にしたい!!」、「顔を見合わせて話したい!!」と切に思う私は、センターの事務所で手を動かして話している方がいると嬉しく感じます。ぜひご遠慮なく「おしゃべり」をしにお越しください。

「テレビ電話って便利!」

4月19日(土)、「春のプラザまつり」を開催しました。これは年2回、春と冬(障害者週間の時期)に開催されるイベントです。プラザ全体では毎回テーマを決めて講演会などを開催していますが、視覚・聴覚障害者センターも、手話教室や機器展などを開いています。今回は「コミュニケーションを助ける機器」をテーマに4社にご協力いただきました。

毎年来ていただくのが「目で聴くテレビ」のアステム。今回も利用の方法などを紹介いただきました。このほか、今回初めて「こえとら」の体験コーナーを開設。「こえとら」を開発したNICT(情報通信研究機構)の方から詳しく説明をしていただきました。これは、スマートフォンなどにダウンロードしておけば、聞ける人が話していることを文字で表示したり、文字で打ったことを音声で伝えたりできるソフトです。はっきり話さないと正確な文にならないかったり、まだ課題はあるようですが、筆談を頼みにくいときには活躍してくれそうですね。

いつもいろいろな場面でお世話になっていいる千里福祉情報センターには、今回「テレビ電話」の体験コーナーをご準備いただきました。壁を挟んでテレビ電話を2台設置。体験者は、モニターに映る相手とのお話に興じておられました。

FAXが日常生活用具になって30年弱。今では個人で購入できる金額になっています。聞こえない人も



気軽に「電話」が利用できるようになれば、生活の幅も広がります。すでにテレビ電話を日常生活用具に認定した市もあり、堺市でも実現すれば自宅にいながら友達と手話で話をしたり、手話通訳の申し込みや相談ができるようになります。

「出会いと学びの場:聞こえの相談会」



5月29日(木)、聞こえの相談会を開催しました。今回は、「難聴と共に生きていく」ということ、難聴をもっと知ってもらうために」と題して、元大阪府職員の松永一實さんにご講演いただきました。

働き盛りで失聴した松永さん。仕事を続けていく上での困難や、人との関係を自分から断ってしまう難聴者の心の内を、体験談を交えてお話くださいました。

「こんな体験をしたのは自分だけだと思っていた。ここで同じ立場の人と出会えてよかった」。参加者の声に、気持ちを分かち合える場の必要性を改めて感じています。「聞こえの相談会」がそんな場になるよう、頑張っていきたいです。

「みみサロ」を開催しました！

5月17日は「聴導犬」について、日本聴導犬協会に講演を依頼。自然豊かな長野県からデモ犬2匹とスタッフ2名、大阪市からユザーさんと現役の聴導犬が来ていただきました。

まずユザーさんが聴導犬と生活することで変わったこと、助かったことなど丁寧に話して下さいました。当日はとても暑い日で、お話の間、長



野から来たワンちゃんたちは床にねそべりながら待機していました。聴導犬は“ほめて、ほめて育てていく”という訓練を受けているそうです。盲導犬は、犬の種類が「ラブラドル」と決まっています

が、聴導犬は特に種類は決まっておらず、訓練をマスターできればどんな種類のワンちゃんでもOKです。犬の種類(大きさ)やユザーさんの体格によつては、例えばユザーさんを起こすときも犬が身体に乗ったつたり、肩をトントンしたりと方法が違います。そういう訓練もきちんと受けていて臨機応変に対応できる頭のいいワンちゃん。デモンストレーションなどを通じて色々と勉強になった一日でした。



「命のカード」お持ちですか？

「みみより11号」ご紹介した「命のカード」。1月からセンターや各区役所で配布していますので、まだお持ちでない方はお問い合わせください。

このカードは堺市ろうあ者福祉協会、堺市中途失聴・難聴者協会のご協力を得て作成したものです。外出時に事故や急病で手話通訳や要約筆記が必要になった時、また、夜間に救急で病院に運ばれたときなどに、周囲にいる聞こえる人の協力を得て派遣依頼ができるよう、必要事項を記載しています。難聴の方には、協会のご要望で「順番が来たら肩をたたいてください」という文を表紙に入れました。病院での呼び出しにご活用ください。

ところで、最近立て続けに「交通事故現場での聞き取りの際、手話通訳を呼んでももらえず、自分の主張を聞いてもらえなかった」ということがあります。曖昧な理解のまま調書に判を押してしまうと、それを訂正することが難しくなります。警官に「命のカード」を見せ、手話通訳や要約筆記の派遣手続きをしてもらってください。

皆さんが利用して下さることで、「命のカード」の認知も広がります。ご協力、よろしくお願いたします。

命のカード
私は目が聞こえません
手話通訳者が必要です
裏面の番号に電話してください
堺市立健康福祉プラザ
視覚・聴覚障害者センター

命のカード
私は難聴者です
筆談してください
(順番が来たら肩をたたいてください)
堺市立健康福祉プラザ
視覚・聴覚障害者センター

「目で見る広報」見たいですか？

センターでは、毎月、堺市ろうあ者福祉協会のビデオ制作ボランティアのご協力を得て、いろいろなビデオを制作しています。そのひとつが「目で見る広報」。聞こえない方たちに利用していただける制度や機器、手話通訳・要約筆記付きの講座など、さまざまな情報をお届けする番組です。

センターと、堺市総合福祉会館1階のテレビで放映しています。また、インターネットで「目で見る広報」と検索していただくと、動画を再生できま

す。スマートフォンでもOK。ぜひ、ご覧になってください。ご希望者の方にはDVDの貸し出しもしています。FAXまたはメールでお申し込みください。

検索



目で見る広報



便利な機材 無料で貸し出ししています

プロジェクタ

サークルなどで手話の読み取り学習をする際、また、画面が小さくて困ることはありませんか？
そんなとき、役に立つのがこの機械。パソコンや右の「DVDプレイヤー」に接続し、スクリーンや壁に大きく映し出すことができます。
手元の配布資料と手話・要約筆記を同時に見るのが大変な時は、下の「OHC」とつなぎ、資料を大写しすることができます。



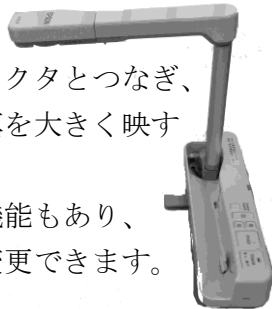
DVDプレイヤー

モニターがついているので、一人で見るときはこの機械だけでOK。複数で見るときは、テレビやプロジェクタにつないでくださいね。
ケーブルも付いています。



OHC

プロジェクタとつなぎ、資料や写真を大きく映す機械です。
ズーム機能もあり、大きさは変更できます。



個人用磁気ループ

補聴器に直接音を届けてくれる磁気ループ。でも、設営は大変。個人で使いたいと思っても、なかなかできません。

そんな時に活躍するのがこれ。
19cm×16cmのケースに入った磁気ループです。

補聴器を使っている方はネックループ、お使いでない方はイヤフォンで。受信機の置き場所を工夫すれば大きな会場でもクリアな音が入ってきます。



ご希望の方は…
視覚・聴覚障害者センターにお申し込みください。
貸出期間は1週間です。

熱中症に気をつけましょう!



堺の地名クイズ

読めるかな？

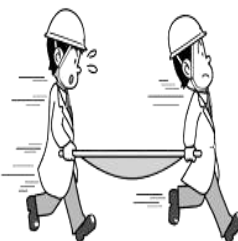
- ① 九間町西(堺)
- ② 田園(中)
- ③ 大庭寺(南)
- ④ 小代(西)

※答えは裏面。

6月に入り、急に夏日が続いています。こんな日は、家の中でじっとしていても「熱中症」を起こすことがあります。

「熱中症」は、体に力が入らない、だるい、めまいがするなど、さまざまな症状が起こり、重症になると意識障害やけいれんを起こします。予防と対処方法を知っておくことがとても大切です。

- ・室温は28℃を超えないよう、エアコンを上手に使いましょう。
- ・のどが渇いていなくても、こまめに水を飲みましょう。
- ・症状が出たら涼しい場所で安静に。衣服は緩めましょう。
- ・自分で水が飲めなかったり、動けなかったりしたときは、迷わず救急車を呼びましょう。



手話通訳者養成講座・レベルアップ講座

両講座ともスタート！

手話講習会は4会場104名、レベルアップ講座は2会場54名。新しい受講生を迎え、開校式を迎えたところです。今年度から新しいテキストを使っでの養成が始まりました。講師も研修を重ね、「会話ができる人」の養成に取り組んでいます。

協会、サークルのご協力も欠かせません。よろしくお願いします。



要約筆記者養成講座

PC講座が始まりました

4月にオリエンテーションを受けた方々を迎え、2014年度の講座が始まりました。受講生は14名。パソコンが得意な方ばかりではありませんが、一生懸命トレーニングに取り組んでおられます。講師も研修会や模擬講義を実施し、養成に励んでいます。

みなさんもエールを送ってくださいね



秀人のおすすめ

「鬼平犯科帳スペシャル盗賊婚礼」

大人気時代劇のスペシャルドラマです。

薬種間屋・山城屋に盗賊が入りました。火付盗賊改の長官・長谷川平蔵は、盗賊の2代目・笠山の弥太郎の仕業とにらみます。

その探索中に、弥太郎が盗賊・鳴海の繁蔵の妹と婚礼を挙げることを知ります。

しかし、その婚礼には裏があり…。



「スペシャルドラマ 一休さん」

「ついたてに描かれた虎を退治しろ」、「このはし、わたるべからず」、「おわんのふたを取らずに、中身を食べる」…。次々に繰り出される難問を鮮やかにとんちで切り抜ける一休さん。

母と別れ、仏の道に入り、成長していく姿を追います。

センターの行事

6月21日(土) 10:30~11:30

「手話での絵本の読み聞かせ」

6月28日(土) 13:30~16:30

「難聴児相談」 ※予約制

7月19日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」

ろうLGBTについて

8月28日(木) 14:00~16:00

「聞こえの相談会」

聞こえの仕組みと補聴器のお話

※個別相談は予約制

夏休みの親子行事も企画しています。

詳細はチラシ・ホームページで！

頑張っています 手話通訳・要約筆記者

実施済

要約筆記者研修 5/10 要約力を高めよう

新規登記者研修会 5/21、5/28

要約筆記者実技研修会(PC) 6/7

パワーポイントを使った講演会での工夫

登記者合同研修 6/28 堺市の障害施策や制度について

要約筆記者実技研修会(手書き) 7/10 ノートテイク

手話通訳者実技研修会 B対象 7/12 CD対象 7/26



地名クイズの答え

- ① くけんちょうにし
- ② たぞの
- ③ おおばでら
- ④ こだい



事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
4月	派遣数	276件	7件	7件	4件	15人	55本
	派遣人数	298人	15人	10人	12人	新規登記者：4人	
5月	派遣数	282件	13件	7件	8件	28人	56本
	派遣人数	304人	23人	13人	19人	新規登記者：14人	

ご協力ありがとうございました

